

第 13 号

発行

富士市消防団

富士市永田町1丁目100番
電話(0545)55-2851
(0545)55-2852
FAX(0545)53-4633



消防団だより

一問一答

昨年七月二十三日、市役所八階市長室にて新富士市長、鈴木尚氏にインタビューを行いました。
公務多忙の中、貴重な時間をさいて頂き、消防行政に関してはもちろん、日頃はなかなか知る事の出来ない「市長の素顔」に迫りました。

市長の素顔



市長に聞く

Q 市長業務は多忙で健康維持が大変だと思

いますが、休日

はどのように過

A 「初心忘れるべからず」です。これは若い頃からの基本としていてずっと変わっていません。

Q 座右の銘がありましたら教えてください。

A 子供時代はどんな子供でしたか？

A 小学生の頃はガキ大将でいたずら坊主でしたね。夢は何故かその当時から政治家でした。高校、大学に入ってから、それが目標ともなりました。家業を継がなかったのですが、両親に理解があり好きな事をやらせてくれたので幸いだったと思います。

Q 人生において特に影響を受けた事、あるいは人はいいますか？

A 高校時代の担任で、水泳部の顧問でもあった先生です。水泳の技術はもちろんですが、人間的な面でいろいろ教わりました。

Q 最近、何か特に感動した事はありませんか？

A 特に「これ」と限定ではなく、スポーツ全般は観ていて感動します。以上が市長の人柄に触れる質問でしたが、ここからは消防に関しての質問が続きます。

消防行政への取り組み

Q 各分団とも新入団員(若年層)の団員確保が難しくなっています。また、社会的に男女平等となりつつある今日、女性消防団員を採用するという意見もあります。それらについてはどのようなお考えでしょうか？

A 行政としては入りやすい環境を作り、待遇面を考慮して頂く事が大切だと考えています。また、女性団員の登用については、すぐに実施の可否等言えません。環境整備が重要で、今後の課題になると思います。いずれにしても地域、企業の協力が必要ですから、積極的に要請していくつもりです。



Q 市長が考える消防団のあるべき姿は、どのようなものでしょうか？

A 基本はボランティア活動ですから「入らなければならぬ」という義務はありません。しかし、余暇の使い方として考えれば、単に娯楽で過ごすより

市長インタビュー後の感想

も有意義であるといえます。「団員としての誇り」「何の為にやるのか」という意識を持つ事が必要だと思います。設備面(ポンプ車等)での改善は必要と考えます。但し、伝統を変えるのではなく、創意工夫をすることで、他市町村より一歩秀でるのです。県大会で判るように、勝てるという事は地域消火にも役立つわけですから。詰所の整備に関しては今後も継続していきます。

Q 消防団に期待する事は何でしょうか？

A 市民の生命、財産を守る大変重要な使命があります。消防団員としての自覚と誇りを持って、日々の活動にあたって欲しいと思います。

新市長として就任直後より、消防団員の定員割れや団員の処遇等、消防団の現況を理解し、それら懸案事項打開の為、各方面への働きかけをして頂いている事は、非常に心強く有り難い事と感じていました。この度のインタビューでも、尚一層の励みとなる期待と激励を頂きました。また、スポーツが好きでカラオケもするなど、市長の親しみやすい一面も、とても印象に残りました。



これからの消防団員としての役割、心構えを再認識し、市民の皆様とのコミュニケーションを図り、予消防活動に邁進しなければの感を新たに致しました。

消防団員家族

第十四分団

植松博江

主人が入団してから、はや二十三年、「もうそんなに経ったんだ」というのが実感です、子供の成長を見ると改めて想い出すのが分団の家族旅行です。慣れない子育ての中、先輩の方々と何を話してよいのかわからず時間だけが過ぎてゆく感じがしました。それでも顔見知りになると言葉を交わしあうことによって心も和み、やがては人と人とのつながりが生まれました。又、同年齢の仲間とは、家族ぐるみの付き合いができ、想い出がいろいろと作れたのも、そのおかげだと思っています。ありがたいことです。

火災発生の放送があった時の出動の素早さは、ポンプ操作の訓練に似ています。家の近所で

火災が発生したときは火の勢い、メラメラと燃え崩れてゆく建物、無残に焼けてゆくさまを目の当たりにして火事に合われた方は本当にお気の毒です。その消火に当たり本部団員や分団の人たちの真剣なまなざしと緊張感、行動力の中で一刻も早い消火をと、願うしかありませんでした。普段会合がある時など帰りが遅くて



平成14年7月20日「東京ディズニーシー」にて

まいつりの防

三回目の消防まつり

第一分団 団員 上野正揮

今年も消防まつりがやって来ました。私達第一分団は、例年通り焼

そばの模擬店とあじの干物の販売、そして今年はおう一品豚汁を加えた合計三品を販売しました。

自分が入団してから三回目の消防まつりですが、毎年天候に恵まれる事から大勢のお客さんが訪れ、今年も干物は午前中で売り切れ、焼そばも焼くのが追い付かない程の大盛況でした。

今年も三回目の消防まつりの参加とあって自分自身多少の余裕もでき

「あ、また酒飲んできて」と言ったりしていますが、出動したときは、「どうぞ怪我のなき様、無事に家に帰ってきてね、家族が待っているから」と言う気持ちです。

九分団の旅行

柳下和哉(十一才)

二月二日、九分団で、ディズニーシーに日帰り旅行へ連れて行ってもらいました。

ぼくは、ディズニーシーは、初めてだったのでとても楽しみにしていました。

その日は、同級生の友達も九分団の旅行に来ていて、一日中いっしょに見て回ってもらい、ぼくは一人っ子なので、いつもの旅行とちがってとても良かったです。

そして、友達のお母さんが乗り物が好きで、次から次へと乗り物に行き人気のあるアトラクションは、ほとんど乗ってしまい、楽しい一日をすご

他の分団がどんな模擬店を出店させているか、見る事が出来ました。

いつも訓練や火災現場でしか顔を会わせる事がないような他の分団の人達とも交流を持つ事ができ、今回は今までは少し違う消防まつりとなりました。

又、私は二児の父ですが、子供達も消防まつりに来て、非常に楽しかった様で、模擬店を出店している一団員として非常に嬉しく思いました。



平成14年10月13日「富士川河川敷ソフトボール場」

新分団長の抱負

第二分団 分団長

近藤敏夫

するかわかりませんが、事故に気がついてがんばってもらいたいと思います。

我第二分団は、吉原小学校を北に、東は富士市公設市場、南は県道インター線までの千四百二十世帯を受け持ち、現在団員数は三十名在籍し、平均年齢は三十五歳です。

自営業、サラリーマン等で構成され、自分もサラリーマンです。

我二分団は、毎月二日の日を定例会の日と定め、全体会議を行なっています。

訓練大会、春、秋の予防週間、十一月の消防まつり、ソフトボール大会、火災期の特別警備、団員の親睦旅行、火災時の出動等があり、大変であるが、過ぎてみれば責任を果たしたという充実感で満たされます。

これからも団員ひとり一人と話し合い、楽しい分団にして行きたいと思っています。

二分団の諸先輩方、地域の皆様のご支援とご協力を頂き、皆様から信頼される二分団を目指して頑張りたいと思います。

又、第一方面隊との横の連絡を密にして行きたいと思いますので宜しくお願い致します。

新分団長抱負

第二十分分団 分団長

望月 克己

消防団員拜命以来二十五年間班長、部長、副分団長と安閑と過ごしてまいりました。分団長になって責任の重さを痛切に感じております。伝統ある二十分団を維持向上させ汚すことのないよう努力しております。幸い団員の皆様が協力してくれる為分団運営もスムーズにしております。常に団員と情報交換を取り、コミュニケーションを図り、各地区のイベントにも積極的に参加しております。今年、岩本山の梅祭りには警備をかねて参加して、とても好評でした。又十二月の実相寺のお会式では、警

備をしながら、立ち食いそばのサービスタなどして地域の皆さんとの交流を楽しんでいます。何十年と続いている行事なので、これだけは絶やさないようにと思っております。それから、詰め所前が、幼稚園児の集合場所であり、通学路と なっている関係、又消防のアピールもかねて、学生さんをお願いして、詰め所のシャッターにアニメの絵を描いてもらいました。子供たちや、道行く人々に、火の用心を呼びかけています。

団員確保については、地元の皆さんの協力を得て、助かっております。毎月の一日、十五日の点検日には自然水利を利用して放水訓練を夜七時半ごろより行っております。又隣接する十九分団と合同の放水

新分団長抱負

第十一分団 分団長

山本 博一

訓練を行い、交流を図っております。いざと言うときに地域のために力を発揮できるよう訓練し、健康に気をつけて、信頼される消防団員になる様努力していきたいと思っております。

平成十四年度の十一分団長に任命され、分団の代表として微力ではありますが、できる限りの努力をさせていただきます。先輩諸氏が築き上げてこられた十一分団を引き継ぎ、より発展出来ますよう団員と共に任期を、精一杯務めさせていただきます。

動がどういふものか、一般の人に理解を深めていくことが出来たと思います。今後一層消防団活動に努めて行きたいと思っております。

まいつりの防

第八分団 団員 高橋 智己

まつり当日は朝からよく晴れ渡り富士山がくっきりと一望できる一日となりました。

私達八分団は、例年どおり野菜・そば・焼きそばの三品を販売しました。毎年野菜が安いということで、まつりの始まる朝九時から数人のお客さんが来てくれました。私は、焼きそばを焼く担当をしました。朝のうちはお客さんの出が少

なかつた為、テント前で呼び子としてお客さん集めました。来てくれているお客さんを見ると、子供連れの家族の方や、お年寄りの方が多く見られました。休憩用に使ったテーブルには、いつの間にかたくさんの方が、私たちが作ったそばや焼きそばを食べに来てくれているのが見えました。また、イベントを見ていると、起震車コーナーでは、地震を想定し体験できるということで、行列が出来ていました。

地震と言え、その後の出火の要因にもつながるため注意が必要であると思えます。今年も消防まつりが盛大に行われ、朝早くから団員が一つにまとまり、楽しく一日が過ぎました。消防活



消防まつりにぎわう。



「地区体育祭」にて

検、放水訓練、消防車と小型ポンプによる中継訓練等を実施し、防災の日には、各町内の自主防災会の小型ポンプの指導、小型ポンプから消防車への中継訓練等、区民体育祭には毎年、訓練礼式を実施し今年も多数の団員の参加があり、地域の方々も消防活動を理解して下さり大変好評でした。

来年度は地域文化祭に於いて、十一分団の一年間の活動を知って頂く為、写真での活動報告をするよう準備を進めております。これからも、地域住民の生命財産を守る為、日々、消防団員としての自覚を持ち、分団員一丸となって、消防活動に邁進する所存であります。

消防豆ちしき



平成13年10月1日より採用された「アポロキャップ」

当分団の団員数は、四十二名ですが新町内の団員数が少ない為、町内役員の皆様のご理解とご協力を得まして、入団員の確保に力を入れていくことと、団員が各活動に参加しやすくなるように、レクリエーション的行事を多く持ち、団員家族も参加し、忌憚のない話し合いの場としコミュニケーションを取り、団員同志の団結力を更に強めて参りたいと考えています。分団の活動は、毎月十一日には定例会を行い、防火水槽、消火栓の点

新分団長抱負

第二十二分団 分団長

五十嵐 俊一

昭和五十四年、私が二十二分団へ入団した年です。早二十三年、過ぎればアット言う間の時間だったように思われます。

当時は、火災も多く年間数十件の出動があり「大変な所へ入った」と感じたものでした。胸の高まりを抑え火災現場へ出向き、鎮火が確認されるまで必死に放水し、撤収の合図が出てポンプ車に乗った時の安堵感は何とも言えないものでした。近年、住宅事情も大きく変化し火災も少なくなり喜ばしい事ですが、毎年放火・タバコ・天ぷら火災と相も変わらず原因として上位を占めているのが現状です。中でもタバコ・天ぷら火災などは個々のウツカリが原因ですが、放火に関しては病的な一因もあります。

当分団では、地域住民に少しでも

火の用心の意識を高めるため、各町内会長との連絡会を年に一度行い、年間五〜六回町内の班長常会に出席し、最近の火災状況・分団活動報告・団員確保のお願い等を説明し町内の理解を頂いております。

今年、分団長に就任し歴代の分団長が築き上げてきたこの分団を継承しつつ、今まで行ってきた事柄に、もう一歩踏み込んだ活動を行う所存であります。中でも地域との触れ合いを第一の課題とし、各町内にある自主防隊とも連携し、指導を兼ね中継を主とした放水訓練を計画して各町内へ文書で送ったところ、現在、早速に参加したいと連絡頂いた所があります。又、別の町内会長より、新入団員の紹介があり入団も決まり書類手続きも済ました所があります。

今年も多くの行事が予定されています。地域住民の一員とし又、消防団員として町作りに進んで協力していきたいと思っております。

を出し合いながら準備を進め、当日を迎えました。

私達二十四分団はクジと射的をやりましたが、私自身初体験でしたのでこの位の人がきてくれるだろうかと心配でしたが、すく沢山の来客がありびっくりしました。

最初、射的の店番をやったのですが、沢山の子供達が楽しそうにやっていたのを見たら、忙しさも忘れてしまい自分自身も楽しくなってきました。次にクジの店番をやりましたが、そちらも射的同様沢山の子供達が大賑わいでした。盛況の内に用意



第二十四分団 団員

志村 真和

消防団に入ってからまだ一年足らずでこの消防まつりも入団してから初めて知りました。皆忙しい中アイデア



「ビシッ」ときまった各個訓練

新入団員教育に参加して

第十二分団 団員 加藤 一仁

今年の四月に近所の消防団員に誘われ、初めは、軽い気持ちで入団しました。

入団して、まず新入団員教育に参加し、消防の歴史や、消防団員としての心得など、大切な話を聞かせて頂きました。周りをみると若い顔ぶればかりで、真剣に話を聞いている姿を見て、自分にも消防団員としての責任と心構えがだんだん湧いてきました。規律訓練では、指導員の方々の手本を見て簡単に見えましたが、

した景品も底をつき、一時頃には完売してしまっ程度で大成功に終わりました。

今回の消防まつりは、全てが初めてのことで一杯々々でしたが、沢山の子供達の笑顔に触れ元気と活力が湧いてくる気がしました。来年は、諸先輩方と同様とまではいかないまでも、足を引っ張らないように、そして今年以上に来る人全員に楽しんでもらえるように頑張りたいと思っております。

今後二十四分団をよろしくお願ひします。

新入団員教育を終えて

第十七分団 団員

貫 奈 央 晃

いざ号令が掛かると体の反応が鈍く非常に難しく普段いかに自分が運動不足かが分かりました。でも、皆の動きが一つになった時のきびきびした光景にはとても気持ちのよいものを感じました。その後も小型ポンプやポンプ車の操作、ホースの取り扱いを学びました。実際に消火活動に使用する物に触れ、改めて消防団の一員になったことを実感した。また、消防団活動がいかに大変で責任があるかに気づき、これからの火災が起きた時に敏速、かつ慎重に消火活動が出来るように、先輩団員の方々に色々教わりながら一生懸命頑張りたいと思っております。消防団には、いろいろな行事があるようなので、これからは人との付き合いや、分団の先輩方との和を大切に、楽しく、消火の際には息の合った行動を取れるようにしていきたいと思っております。

最初に入団に誘われた時の気持ちとは逆に決意と自覚が持てるようになりました。まだまだ不安はありますが、日々努力して、消火活動や、行事に積極的に参加していこうと思っております。

去る五月二十六日、約四十名余りの新入団員の教育が行われました。今までは、分団の先輩方から規律など指導されましたが、普段使っていないので教育が必要だと感じました。そして開校式から始まり消防団としての責任と、心構えについての教育



消防防災庁舎前にてポーズをとるカラーガード団員

富士市 カラーガード隊

こんにちは。富士市カラーガード隊、フジレッド・フェアリーです。

私たちは、消防音楽隊を協力し消防出初式を始め、消防まつり、春・秋の火災予防パレードにおいて、市民の皆様へ日常からの火災予防を意識していただける様、消防団で言えば消火の要であるポンプ車のような、大小様々のフラッグを用いて、演技をしています。

現在隊員は八名で活動していますが、私たちと一緒に火災予防のお手伝いをしていただける新たなメンバーを募集しています。

体を動かす事が好き、「ちょっと気になるんだけど...」そんな方は気軽な気持ちで練習をのぞきにきてみて下さい。火災現場に行くことは出来ませんが、沢山の方が見ている大舞台があなたを待っています。

消防団の皆さんが身近な存在で頑張っておられるように、私たちカラーガード隊も、市民の皆様の身近に感じてもらえるよう頑張りたいと思っております。これからも応援よろしくお願ひ致します。



を受けました。次に消防団の概要の話し方が面白かったので、途中に眠気を感じなく楽しく講義を聞きました。その後は、屋外に移動し各個訓練の教育になり普段の生活で使わないう整列などの訓練を行いました。学生時代に教わったことより簡単と思

まいつりの防

奥様方の消防まつり

第四分団 分団長
亀井 浩

平成十四年十一月十日は、第十六回消防まつりである。当分団名物の大福餅は奥様方の手作りであり、また分団の主役でもあります。団員もそこそこ頑張っています。

第一回から女性と男性が一緒にまつりをやるのは、消防団では珍しいとおもわれます。(他分団であります)「あんこ丸めがめがめが」前日の夜、あんこ丸めがめがめがをそろ

いきや細かな部分に違いがあり大変でした。整列、敬礼などを訓練した後、昼食になり休憩して午後の教育に入り、二班に別れての部隊訓練です。初めは中々手と足が合わずに苦労しました。何回も訓練をした甲斐もあり、無難にこなせる様になりました。最後の大型小型ポンプ車操法の教育は、触った事がないので、何をどのように操作して良いのか不安気な説明を聞きながら、ホースの持ち方や運び方などを訓練しました。そして、ホースの巻き方や放水時の姿勢など教わった後に、ポンプ車についての説明になり、知らなかった各部分について細かく教わりました。何とか教育を終了しましたが、さらに今後の消防団員として自覚を持ち、

新入団員教育

第二十一分団 団員

鈴木 照 幸

五月二十六日、富士市公設市場にて新入団員教育を受講しました。消防団長の挨拶と訓示を聞き、いままで味わったことのない使命感のよくなものを感じ、消防団に入団した時の甘い気持ちが一掃された気がしました。午前中は講義を受け、午後からは屋外で訓練儀式・小型ポンプ・ポンプ車操法を指導員の指導のもと体験・見学しましたが、指導員の機

後輩に指導できればと思いました。そして、富士市の「消防団員として、災害が起きた時に貢献できる様になるばっていきたいと思います。」

えて約三千〜三千二百個つくります。力仕事は団員がします。まつり当日はそろいのエプロンを身にまとい早朝より参加してくれました。団員がつくもちを手際よく大福餅にします。たまには、他分団の店へも交代で見に行きますが、十時過ぎる頃には、いつの間にか、十五人位のお客が列を作って大福餅が出来てのを待っているののでフル回転です。早く餅米とあんこが終わりにならないかと団員たちも気をもんでいます。最後の「パッパ」が出来終わるとみんなどつと疲れが出てきます。これで閉店です。



平成14年消防まつり
あとをたさない「起震車体験コーナー」

ラッパ隊

第十三分団 団員

小澤 和 徳

敏で確実な動作を見ている。「同じ事が自分でも出来るのだからか」という不安と「素晴らしいな」という感動が交差しました。実際の火事の時に、身を守りながら機敏で迅速に消火活動を行うための重要な訓練なんだと思いました。全日程が終わり、消防団長から修了証書を頂き解散しました。本日体験したこと、又、心に感じた事を忘れずに、これからは先輩方の指導のもと一日も早く消防団員として地域に貢献できるよう努力していきたいと思ます。

自分が、富士市消防団ラッパ隊に入隊したきっかけは、簡単なものでした。消防出初式でラッパ隊が制服姿で颯爽と演奏しているのを見ました。規律正しく一斉に揃った動きをするその美しさに心を奪われました。そこへ、分団長が「誰かラッパ隊をやってくれないか？」との言葉。私は、ラッパの経験はなかったのですが、小さい時キーボードや祭りなどで笛などの経験がありました。そこで、自分にもできるのではないかと思いい「自分ラッパ隊やります！」と志願して入隊しました。入隊初日、気合を入れて練習に向かいました。ラッパを手渡され、先輩が「さあ！音出してみよっか！よし！スー！出ない...。音は簡単に出来ると思っていたのですが、空気の抜ける音しきません。「このラッパにはピストンがないか



市役所北側駐車場で

らね。唇の閉め方だけで変えるんだよ」との言葉：やばい。このとき自分がラッパをあまくみていたことにはじめて気づきました。なかなか音の出ない自分に「私もね、未経験で入ったから大丈夫だよ」などと優しい言葉をかけていただき、励まされ、何とか練習を続けてきました。そして現在三年目になります。徐々にはありますが曲になってきました。これも、未経験の自分に対して根気よく教えて下さった隊長はじめ先輩方のおかげです。この場を借りてお礼を言わせて頂きます。本当にありがとうございます。ラッパ隊の活動の場としては「富士まつり」「消防まつり」「出初式」のほか公式消防行事などがあります。自分の現在の目標としては一人でも演奏出来るようになり、所属する分団でもこのラッパを活かして、消防団活動に励みたいとおもいます。早く一人前のラッパ吹きになり胸を張って「自分は富士市消防団ラッパ隊であります！」と言いたいと思っています。

消防ソフトボール大会

第二十六分団

団員目 黒 絢 也

前年度の大会は、第二十六回大会という事で、我々二十六分団は大会前から各部落チームと練習試合を行いました。当日優勝をおさめることが出来ました。しかし今回の大会は、練習が雨などで中止になり一度も練習ができませんでした。当日集まった人数は十二名、団員数が少ないので仕方ありませんが前回優勝していることもあったので、何試合か勝てるだろうと思っていました。みな試合前から勝って当然といった感じでした。しかし試合が始まってみれば、体は動かない、打てないし走れないの試合にならず九対一の一回戦敗退であっけなく終了。今回の事から、普段の練習の大切さを痛感しま



富士川河川敷ソフトボール場

た。我々消防団は、日ごろの訓練があつてこそ火災現場で適切な働きが出来て、安全で確実な消火活動が出来るのである。これから冬が来ます。ますます真剣な訓練が必要かつ重要であると思います。

『大会二連覇!』

第七分団

班長 佐野 裕 昭

昨年消防ソフトボール大会で見事、念願の初優勝を決めた我々第七分団は、その夜、行われた慰労会で「来年も絶対優勝して大会二連覇だ!」と息巻く勝利の美酒に酔いしれました。あれから早一年が経ち、八月に入った頃から早々と練習日の調整、道具の確保、スタメンの選抜などを行い、今大会に向けての意気込みは市訓練大会以上のものがあつたかな? 普段、消防活動ではあまり活躍の出来ない私も、得意分野での行事と言うことで担当役員の一人として、着々と「二連覇」に向けての準備を進めていきましたが、不幸なことに練習日になると必ずと言っていいほど雨が降り、結局練習が出来たのは大会一週間

前に行われた第二十四分団との交流会での一回だけ。こんなで大丈夫? と不安におもっているところへ、大会当日、七分団の主力メンバーとも言える(私を含めた?) 三人がソフトボールの県大会と重なり出場できないと言う非常事態になり、慌ててメンバー編成をおこない、何とか三人が戻ってくるまで」と本番に望んだそうです。結果、三人が戻ったときにはすでに遅く、大会二連覇への夢は消え去りました。そんな事で担当役員の最後の仕事として試合に出場出来なかった私がこの原稿を書いているわけです。

夢と散った

夢と散った

私は、消防活動の一環として行われているソフトボールや先日、行われた消防まつりなどのリクレーション行事を通し、団員同士の友好と団結を深めていくとともに市民の皆様にも消防団をアピールする機会だと思っています。又、地域主催で行わ



前回優勝第七分団対第十七分団



「第七分団 神尾キャプテン」

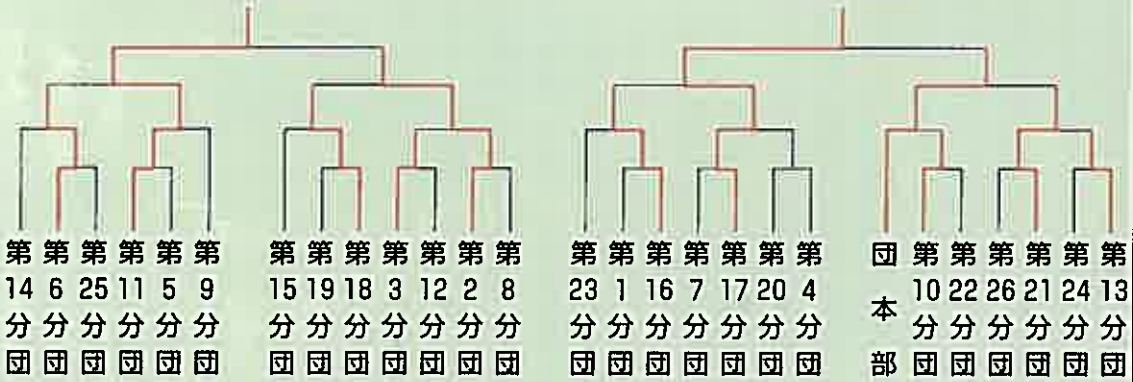
最後に我々七分団は、次回ソフトボール大会で必ず優勝し、今年なせなかつた夢を実現する事をこの紙面をお借りして宣言いたします。

れてはおまつりや、区民体育祭、文化祭などに地元消防団として、積極的に参加をし地元住民の皆様が思いがちな「消防団はお堅いんじゃないの?」とか、「大変」とかの思いを払拭し、消防団としての楽しい一面も見てもらいもっと消防団を理解してもらい、アピール出来たらいいなと思います。確かに火災期特別警備や訓練大会などつらい活動もありますが、そこは地域社会への貢献とボランティア精神で乗り越えています。後は七分団の雰囲気良さが、私の消防活動十数年を支えてくれていると思います。各分団定員不足の今、若者が興味を持ってくれるような消防団活動を期待します。

第27回 富士市消防団員ソフトボール大会結果

第11分団

第17分団



市長・議長・斉藤国会議員による始球式

納車式

新分団長の抱負

第二十五分団

分団長

井出新吾

二十五分団創立二十周年を迎える記念すべき年に、新ポンプ車受け渡し式が行なわれ、市長より車のキーを受け取りました。最新式のポンプ車を団員一丸となり、一日も早く使いこなして、市民の皆様の期待に添えたいと思います。

分団の運営については、二十年の歴史を踏まえ、団員の連携を密にし、地域の方々が安心して生活出来る様な防災活動を重点におき、活動、運営して行く所存です。

又、近年、団員が減少傾向にあり、団の活動も大変な時期にきています。今年も二人の若い団員が入団しましたので、その若い力も借りて、団員確保にも積極的に働きかけ、団

員増員を目指していきます。活気ある明るく、開かれた分団として、広見、石坂、青葉台の皆様のご支援、御協力を頂き、信頼される分団を目指して、団員一同頑張るつもりで居ますので御協力の程宜しく御願致します。



消防防災庁舎前にて

消防団員募集中

富士市消防団では消防団員を随時募集しています。市内在住の18歳以上で熱意のある健康な人なら入団できます。

入団方法：地域の消防団員または地域の町内会(区)長へ申込んでください。



問い合わせ 消防本部管理課
TEL.55-2852/FAX.53-4633

防災訓練

第十九分団

班長 古畑政明

神戸の大震災のニュースを数年前に突然見たことを思い出す。

そのとき、いつもの地震がどこかで又発生したほどの気持ちで画面を見た。その画面は、いつもの地震のものではなかった事をはっきり思い出す。一つの都市が燃えていた。画面全体、都市が壊れていた。最近静岡でも地震があった。富士山でも異常が出た。今住んでいる家が十年以上たっている人がほとんどだろう。自分たちも大地震にあえば、間違いなく同じことになる。

九月一日は、朝から暑い日だ。今日の防災訓練は、岩松地区は、かりがね堤に特設会場を設営して、大規模に行われた。消防はポンプ車を使用し、水幕を作り、その横を避難するものだった。水幕を作り出す為には特



中学生たちによるバケツリレー



水幕の横を通りぬける住民たち

別なホースと方法で行うので実際現場でどのように使用するかは、これからの問題だと思う。その他の参加は、車をレッカー車を使用して移動する。中学生は、バケツリレーで水をかける。アマチュア無線で災害のニュースを流す。防災犬で人を探す。車椅子で足の不自由な人を移動する等、色々な事を訓練して、災害の時、実際何日間か続ける事ができれば、多くの人命を救えるものと思う。そのためには、実行部と後方援助、情報収集等、連携が重要な問題となるだろう。

自分達のやって来た事が万一の時に役に立つよう基本的なことは団員ができる様になっていけば、協力して行動できるものと思う。これからも、実際に近い訓練を基本に考え、消防団活動を続けたいと思います。

分団紹介

第十六分団 班長

青木勝也

富士市消防団第十六分団は、JR東海道線南側に位置し、富士駅から南へ〇、九km、東は東芝キヤリアまでの一、八kmと

東西に細長い九平方kmの富士駅南地区を担当しています。時代の流れとともに、マンシヨンの数も増え町の景観も変わりつつあります。その中で、火災時の団員の対処の仕方、変わりつつあり、月一回の定例活動における訓練内容も考慮しながら各地区内の防火水槽の点検、ポンプ車、小型ポンプの機械器具の操作点検の実施以外に、中継位置、待機位置の確認など、いざ本番に対する心得の訓練も行っています。

第十六分団には、十月一日現在、高井明夫分団長のもと二十三人の消防団員が所属していますが、ほかの分団と同じく、高齢化が進んでいます。よって、若く健康で活動に参加できる人を、求め皆で積極的に声をかけ勧誘しているところでもあります。前分団長の石川氏の方針を引き継ぎ、地域に、より受け込んだ消防団活動を目指して「を基本概念として、地域の各種行事に積極的に参加しています。また、富士駅南口の違法駐輪の自転車の、マナー指導にも、積極的に参加し、地域の安全、美化にも、勤めて一つの消防団としての枠にはまらず各種団体との横のつながりもつくり地域の消防団としての認識を深めたいと思っています。

消防団員は、それぞれの職種も異なり、一人一人の人間関係でつながっており、これからも団員の懇親を深めつつ、また家族に対する感謝の気持ちも忘れることなく活動していきたいと、思っています。

消防団詰所シャッター紹介



第1分団詰所



第2分団詰所



第3分団上中詰所



第3分団日吉詰所



第8分団詰所



第16分団詰所



第20分団詰所



第21分団詰所



第22分団詰所



第24分団詰所

親しみのある消防団づくりの一環として各分団特長を出し消防団を絵でPR。地元小学校、中学校、高等学校他、分団により、シャッター画の依頼の違いはあるが「明るい住み良い町づくり」の思いを込められたシャッター画。ぜひ一度見てください。

平成14年「小さな親切」実行章

消防団詰所車庫のシャッターペイントに参加し明るく住み良い郷土に貢献したことにより社団法人「小さな親切」運動本部より表彰。



伝法小学校児童会



吉原第一中学校美術部

消防防災庁舎 2F PR室にて伝達式が行われた。



第26分団詰所

地域に親しみのある消防団に...

消防団シャッター一覧表

消防団	作成日	作成者
1	H14.7	吉原第一中美術部
2	H7.3	吉原高校美術部
3(上中)	H14.7	伝法小
3(日吉)	H14.7	吉原第一中美術部
8	H9.3	東中三年生
16	H11.8	第二小、南中美術部
20	H14.8	京都精華大学
21	H2.7	鹿岡中美術部
22	H1.8	分団員
24	H13.10	天間小
26	H9.9	南中美術部

編集後記

消防団だより発行に際し、公務多忙の中、

広報委員のインタビュー

を快く受けて下さった市長、並びに多数の原稿を寄せて頂いた各分団の関係者の皆様、厚く御礼申し上げます。

なお今回より、より見易く、より分かり易くする為、カラー刷りと致しました。

消防団だよりが、広く市民の皆様を理解支援をして頂ける一助となる事を願いながら、より良い広報の場としての紙面作りが出来る様、これからも努力して参ります。

今後ともご支援、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

富士市消防団

広報紙編集委員

委員長

第五方面隊長 山本 信英

副委員長 第二方面隊長

第十二分団 副分団長 長尾 文彦

委員 第一方面隊長

第二十五分団 班長 片平 保夫

委員 第三方面隊長

第九分団 班長 柳下 孝之

委員 第四方面隊長

第十三分団 班長 千葉 和男

委員 第五方面隊長

第十八分団 班長 保田 訓

委員 第六方面隊長

第二十一分団 班長 渡邊 頼次